

【リビジョンアップ】

R20TS0858JJ0101

Rev.1.01

統合開発環境 CS+ V8.08.00

2022.07.16 号

概要

統合開発環境 CS+を V8.07.00 から V8.08.00 にリビジョンアップします。

1. アップデート対象バージョン

- CubeSuite+ 共通部分 : V1.00.00～V1.03.00 および V2.00.00～V2.02.00
- CS+ 共通部分 : V3.00.00～V3.03.00、V4.00.00～V4.03.00、V5.00.00、V6.00.00～V6.01.00、V7.00.00、V8.00.01、V8.01.00～V8.07.00

バージョンの確認方法は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/cs+ ver>

2. リビジョンアップ内容のトピックス

- マイクロコントローラの変更時等にビルド・ツールのプロパティの設定を変更する改善（対象：RL78 ファミリ、RH850 ファミリ）

下表の機能を実行した時に、指定されているマイクロコントローラに従ってビルド・オプションを自動的に調整します。また、マイクロコントローラ用のスタートアップ・ソース・ファイルをプロジェクト・フォルダのサブフォルダに出力します（参考用ですのでプロジェクトには登録されません）。

機能	RH850	RL78
マイクロコントローラの変更	調節する	調節する
プロジェクト作成 （既存のプロジェクトのファイル構成の流用を行う場合）	調節する	調節する
プロジェクト変換	調節しない	調節する

3. リビジョンアップ内容

3.1 CS+共通部分（ビルド、デバッグ および 解析機能等の共通部分）

- CS+ for CC（RX、RH850、RL78 用）の共通部分を V8.07.00 から V8.08.00 に更新しました。

CS+ for CC V8.08.00 では、以下のような更新を行っています。

(1) CS+ for CC（RX ファミリ、RH850 ファミリ、RL78 ファミリ 用）

V8.07.00 から V8.08.00 に更新しました。

主な項目を以下に記します。詳細はリリースノートをご参照ください。（7 月 20 日公開予定）

<https://www.renesas.com/software-tool/cs#document>

CS+ for CC V8.08.00 リリースノート

(a) ビルド・ツールの機能追加・機能改善

- Green Hills Software, LLC 製 RH850 コンパイラの以下バージョンの対応を追加しました。（対象：RH850 ファミリ）

・ 2022.1.4

GHS コンパイラに関しては株式会社アドバンスドデータコントロールズ様にお問い合わせください。

<http://www.adac.co.jp/>

- GHSCCRH850 のプロジェクト作成時の-cpu オプションの初期値の改善（対象：RH850 ファミリ）
GHSCCRH850 のプロジェクトを作成する場合に、-cpu オプションの初期値を適切にセットするようにしました。

(b) デバッグ・ツールの機能追加・機能改善

- Green Hills Software, LLC 製 RH850 コンパイラの対応（対象：RH850 ファミリ）
以下バージョンの対応を追加しました。

・ 2022.1.4

- 消費電流シミュレーション機能の対応品種拡充（対象：RL78 ファミリ）
次のマイクロコントローラの消費電流シミュレーションの対応品種を追加しました。

・ RL78/G23 グループ（注）

注：本版で RL78/G23 グループの全品種の消費電流シミュレーション機能が使用可能になりました。

詳細はリリースノートをご参照ください。（7 月 20 日公開予定）

<https://www.renesas.com/cs+ document>

RL78/G23 用シミュレータ V1.03.00 リリースノート

- 仮想ボードパネルのサポート部品拡充（対象：RL78 ファミリ）
仮想ボードパネルでサポートする部品を追加しました。

・ Wi-Fi モジュール(UART)

詳細はユーザーズマニュアルをご参照ください。（7 月 20 日公開予定）

<https://www.renesas.com/cs+ document>

CS+ V8.08.00 統合開発環境 ユーザーズマニュアル RL78 デバッグ・ツール編

- 仮想ボードパネルに端子一覧を表示する改善（対象：RL78 ファミリ）
仮想ボードパネルに、MCU の全ての端子を一覧表示し、各端子の使用状況を確認できる機能及び各端子にデジタル値もしくはアナログ値を入力できる機能を追加しました。

詳細はユーザーズマニュアルをご参照ください。（7 月 20 日公開予定）

<https://www.renesas.com/cs+ document>

CS+ V8.08.00 統合開発環境 ユーザーズマニュアル RL78 デバッグ・ツール編

- 仮想ボードパネルで評価ボードの部品情報を読み込めるように改善（対象：RL78 ファミリ）
仮想ボードパネルの初回起動時に、表示される評価ボードに実装されている部品とマイクロコントローラ間の接続情報を仮想ボードパネルに読み込むかを選択できるようになりました。ただし、評価ボードが仮想ボードパネルでサポートされている、かつプロジェクトで選択しているマイクロコントローラが評価ボードに使用されているマイクロコントローラと一致する場合に限ります。

詳細はリリースノートをご参照ください。（7 月 20 日公開予定）

<https://www.renesas.com/cs+ document>

CS+ for CC V8.08.00 リリースノート

- 消費電流測定パネルから通過ポイントの削除（対象：E2、RL78 ファミリ、RX ファミリ）
消費電流測定の通過ポイントの削除はエディタからのみ可能でした。本版より消費電流測定パネルの通過ポイント一覧で[delete]キーを押下することでも削除できるようになりました。

詳細はユーザーズマニュアルをご参照ください。（7 月 20 日公開予定）

https://www.renesas.com/cs+_document

CS+ V8.08.00 統合開発環境 ユーザーズマニュアル RL78 デバッグ・ツール編

CS+ V8.08.00 統合開発環境 ユーザーズマニュアル RX デバッグ・ツール編

- DFP デバッグのサポート（対象：RH850/U2B シリーズ、E2 エミュレータ）
DFP 搭載 RH850/U2B シリーズデバイスで G4MH コアと DFP の連動デバッグが可能になりました。DFP のデバッグとして NSITEXE 社の DR1000C デバッガ/IDE を使用します。

詳細はユーザーズマニュアルをご参照ください。

https://www.renesas.com/cs+_document

CS+ V8.08.00 統合開発環境 ユーザーズマニュアル RH850 デバッグ・ツール編

<https://www.renesas.com/software-tool/e2-emulator#document>

E2 エミュレータ ユーザーズマニュアル別冊

（RH850/U2B シリーズ DFP 連動デバッグのセットアップ）

(c) Python コンソールの機能改善

- Python 関数、プロパティ、クラスの追加と変更を行いました。
詳細はリリースノートをご参照ください。（7 月 20 日公開予定）

<https://www.renesas.com/software-tool/cs#document>

CS+ for CC V8.08.00 リリースノート

3.2 デバイス依存情報

CS+ for CC 用のデバイス依存情報は以下のように更新しました。

3.2.1 CS+ RX デバイス依存情報

V3.09.00 から V3.10.00 に更新しました。

V3.10.00 では、以下の更新を行っています。

(1) 今後の CS+の更新に備えた事前更新

詳細内容は以下の URL で確認してください。（7 月 20 日更新予定）

https://www.renesas.com/cs+/jpn/CSPlus_DevInfo_RX.html

3.2.2 CS+ RH850 デバイス依存情報

(1) サポートデバイスの追加

以下のサポートデバイスを追加しました。

- RH850/F1KM-S4 グループ（高温対応品）
- RH850/U2B グループ

注： U2B グループのデバッガでの選択型名について

U2B グループのデバッガでの選択型名は PKG 毎ではなく各シリーズでの設定になります。

詳細内容は以下の URL で確認してください。（7 月 20 日更新予定）

https://www.renesas.com/cs+/jpn/CSPlus_DevInfo_RH850.html

- RH850/U2A グループ

(2) デバイス情報の修正

以下のデバイス情報を修正しました。

- RH850/U2A グループ

詳細内容は以下の URL で確認してください。（7 月 20 日更新予定）

https://www.renesas.com/cs+/jpn/CSPlus_DevInfo_RH850.html

4. アップデート方法

CS+は無償でオンラインアップデートできます。アップデート方法はお持ちの CS+によって異なります。

注意 1. CubeSuite+から、CS+ V3.01.00 以降へのアップデートを行った場合、ビルド・ツール CC-RL が無償評価版として追加されます。

ただし、従来の RL78、78K ファミリ用 C コンパイラパッケージ (CA78K0R、CA78K0) のライセンスでは、CC-RL 無償評価版 の制限は解除できません。

CC-RL 無償評価版 の制限を解除してご使用する場合には、RL78 ファミリ用 C コンパイラパッケージ V1 (CC-RL) の製品版を新たにご購入ください。

注意 2. RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ V1(CC-RH)のライセンスでは RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ V2 (CC-RH) の無償評価版の制限は解除できません。

RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ V2 (CC-RH) の無償評価版の制限を解除してご使用する場合には、RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ V2(CC-RH) の製品版を新たにご購入ください。

注意 3. RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ V1、V2(CC-RX)のライセンスでは RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ V3 (CC-RX) の無償評価版の制限は解除できません。

RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ V3 (CC-RX) の無償評価版の制限を解除してご使用する場合には、RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ V3(CC-RX) の製品版を新たにご購入ください。

注意 4. コンパイラ製品のご購入方法の詳細は、6 項をご参照ください。

4.1 CS+ V3.00.00 以降を使用している場合

以下のいずれかの方法でアップデートしてください。

- (1) Windows の [スタート] メニューから Renesas Electronics CS+ を選択し、アップデート・マネージャを起動してアップデートする。（7 月 20 日からサービス開始予定）

注意 ラピッドスタートを有効にして CS+を起動している場合は、CS+を一旦終了した後にアップデート・マネージャを起動してください。

ラピッドスタートにより CS+が Windows 上の通知領域（タスクトレイ）内に常駐している場合は、エラーが発生し、以下のメッセージが表示されます。

M0120001

"CubeSuiteW+.exe"

が起動中のため、インストールは中断されました。

次回ツール起動時に再開されます。

(2) 以下の URL から必要なソフトウェアツールをダウンロードしてインストールする。

(7 月 20 日から公開予定)

<https://www.renesas.com/software-tool/cs#download>

4.2 CubeSuite+ V2.00.00～V2.02.00 を使用している場合

4.1 項と同じ方法でアップデートしてください。

なお、「Renesas Electronics CS+」は「Renesas Electronics CubeSuite+」に読みかえてください。

4.3 CubeSuite+ V1.03.00 以前を使用している場合

CubeSuite+ V1.03.00 以前では、アップデート・マネージャに対応していません。

以下の URL から CS+ for CC V8.08.00 をダウンロードしてアップデートしてください。(7 月 20 日から公開予定)

<https://www.renesas.com/software-tool/cs#download>

5. 無償評価版について

コンパイラ製品を購入する前に、無償評価版で製品の機能や性能を評価できます。

以下の URL から CS+ for CC をダウンロードしてください。

(7 月 20 日からインストーラ公開予定)

<https://www.renesas.com/software-tool/cs#download>

なお、インストール後、CubeSuite、CubeSuite+のライセンスまたはコンパイラ製品のライセンスを入力することで製品版として使用することができます。

6. 購入方法

製品開発に使用される場合はコンパイラ製品をご購入ください。

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業または特約店までご連絡ください。

価格についても同様にお問い合わせください。

CS+で利用できるコンパイラ製品は、次のとおりです。

- RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ professional 版
- RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ standard 版
- RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ professional 版
- RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ standard 版
- RL78 ファミリ用 C コンパイラパッケージ professional 版
- RL78 ファミリ用 C コンパイラパッケージ standard 版
- RL78、78K ファミリ用 C コンパイラパッケージ
- V850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ

注意. 2022 年 1 月からコンパイラ製品のインストール媒体(CD/DVD)を廃止しました。

インストーラは Web ページからダウンロードが可能です。4 項をご参照ください。

受注型名については、各製品の Web ページをご参照ください。

RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ : https://www.renesas.com/rh850_c

RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ : https://www.renesas.com/rx_c

RL78 ファミリ用 C コンパイラパッケージ : https://www.renesas.com/rl78_c

V850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ : https://www.renesas.com/v850_c

RL78、78K ファミリ用 C コンパイラパッケージ : https://www.renesas.com/rl78_78k_c

コンパイラライセンスについては、以下の Web ページをご参照ください。

https://www.renesas.com/compiler_licenses

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Jul.16.22	-	新規発行
1.01	Sep.30.22	3	「DFP デバッグのサポート」に関して追記

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。